

リリースノート

Altair[®] Inspire[™] Studio 2022.1

新機能と機能強化 2022.1

Altair Inspire Studio 2022.1 では次の機能強化と問題解決が含まれています。

Studio

- PolyNURBS のパフォーマンス向上とメモリ使用量の削減。
- スケッチに追加された新しい線形および円形パターンツール。
- ブレンドカーブツールでトリムオプションが表示されない問題を修正しました。
- **Free Circles**（フリーな円）と四角形の寸法が変更される問題を修正しました。
- モデリングツールで、割り当てたテクスチャマッピングが削除される問題を修正しました。
- ドローイングで新規シートを作成すると、直前のシートが削除される問題を修正しました。
- ガイドバー編集ボックスに焦点があるときに **Tab** キーを押すとクラッシュする問題を修正しました。

レンダリング

- マテリアライブラリをブラウザパネルに移動しました。
- 環境ライブラリをブラウザパネルに移動しました。
- モデルライブラリをブラウザパネルに移動しました。
- ブラウザパネルにモデル、マテリアル、環境の検索/フィルターバーを追加しました。
- 「スプリング」シミュレーションデータのサポートを追加しました。
- 現在のモデルを.iStudio 以外のフォーマットで保存すると.iStudio として上書きされてしまう問題を修正しました。
- コピーとペーストが機能しない問題を修正しました。
- オブジェクトを削除するとクラッシュする問題を修正しました。
- あるグループから別のグループへオブジェクトをドラッグしたときのマテリアルリストの問題を修正しました。
- アニメーションをレンダリングするとクラッシュする問題を修正しました。
- **SpaceMouse** サポートを更新しました。
- 粒子形状のサポートを追加しました。
- 「選択したものをモデルとして保存」を選択すると、シーン全体が保存されてしまう問題を修正しました。
- **Shift+Ctrl+RMB** でドラッグすると、カメラズームが機能しない問題を修正しました。
- **Mac** で **Control** キーではなく **Command** キーを使用したマウスコントロールに関する問題を修正しました。
- マテリアルリストの不可視オブジェクトはグレーテキストで表示されるようになりました。

ダイ設計

- パインダーサーフェスがパートとオーバーラップする場合に対応するダイツールを追加しました (SR-7019)。
- 以下を含むいくつかの機能拡張をドロービード (ISR-6968) に追加しました。
 - 円形断面
 - 楕円形および半球形のエンドキャップ
 - 可変フィレット半径
 - 対称面を横切るドロービード
 - パフォーマンス向上
- フェイスフィレットを強化して半径の拡大を可能にしました (ISR-6967)。


Inspire Studio の詳細

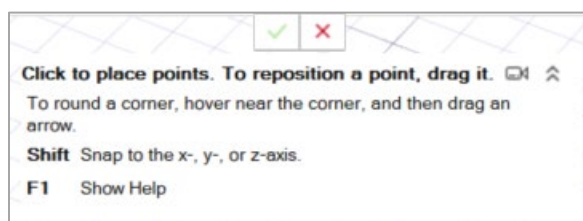
Inspire Studio の新しい機能や既存の機能については、以下のリソースを使用して詳しく知ることができます。

アプリケーション内でのユーザーアシスタンス

ガイドバーまたはマイクロダイアログを開くツールを選択すると、**ワークフローヘルプ**が表示されます。このヘルプは、次に何をすべきかを指示します。

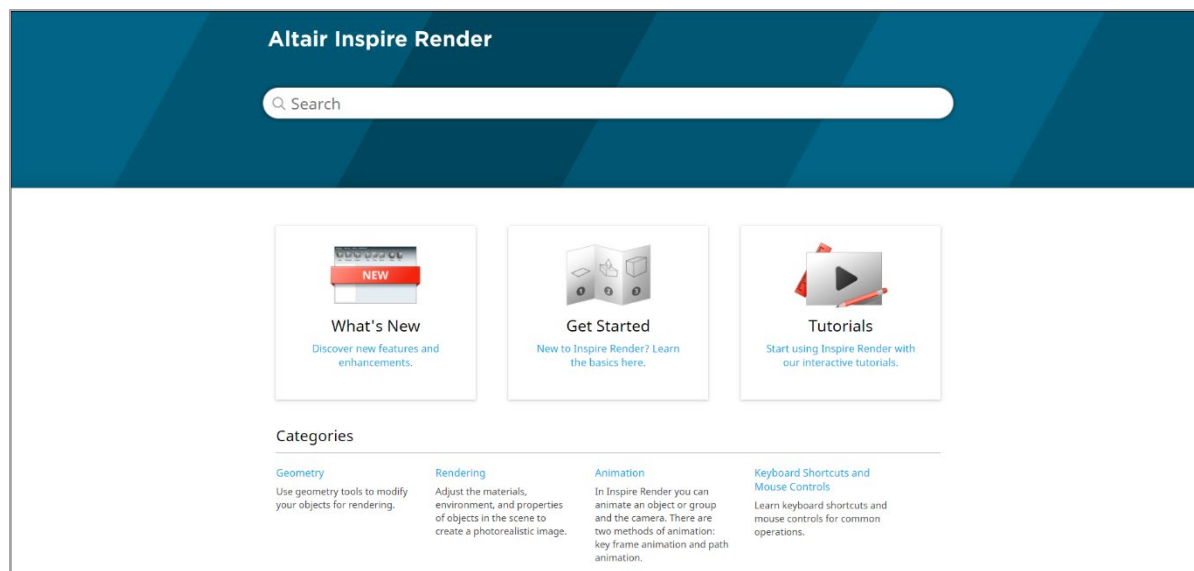


▼ をクリックすると、その他のヒントやショートカットが表示されます。一部のツールには、ビデオ  も用意されています。



オンライン/オフラインヘルプ

F1 キーを押すか、**ファイル > ヘルプ > ヘルプ**を選択して、オンラインヘルプにアクセスします。



オフライン版をダウンロードするには、ファイル > ヘルプ > オフラインヘルプのダウンロード (File > Help > Download Offline Help) を選択します。ダウンロードにはインターネット接続が必要です。

